

NTO プチスリム PN33TA・PN33A 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物の損害だけの発生が想定される場合。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- 🚫 してはいけない内容です。
- 🛑 実行しなければならない内容です。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

使用上のご注意

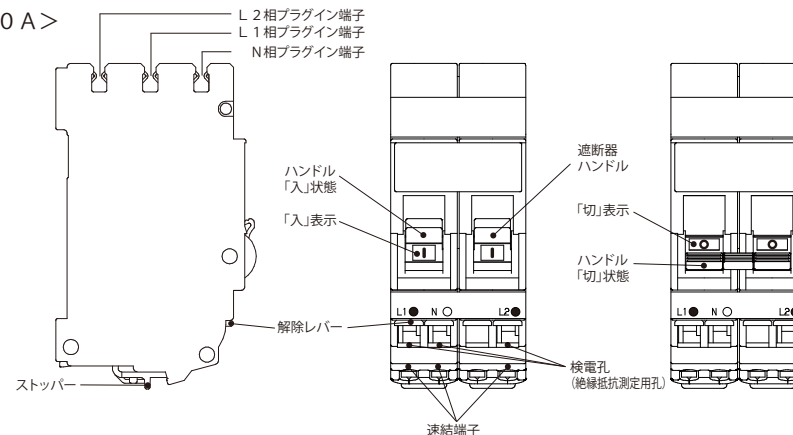
危険	
	端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。
注意	
	自動的に遮断した場合は、原因を取除いてからハンドルを「I」にしてください。感電や火災のおそれがあります。
	保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

施工上のご注意

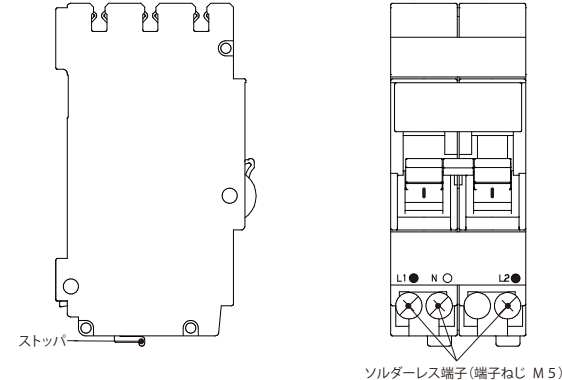
注意	
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
	1つの速結端子に2本以上の電線を差込まないでください。
	取扱説明書に記載してある使い方と異なった取扱いをしないでください。機器の故障や、けがをされるおそれがあります。
	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
	配線作業は、上位遮断器を「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
	本体の定格にあった電源に接続してください。不動作および故障の原因となります。
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが遮断器内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。
	接続は指示通りに行ってください。
	電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災の原因となります。
	電線接続の際、端子ねじを確実に締付けてください。火災の原因となります。(30Aのみ) 標準締付トルク 1.5～2.5 N・m
	この遮断器は、弊社プチパネルへの取付け専用です。他社銅バーへ取付けた場合、火災の原因となります。
	プラグイン端子はバーへ確実に差込んでください。差込みが不十分な場合、火災の原因となります。
	電線を速結端子に接続する場合、橙色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差込んでください。差込みが不十分な場合、火災の原因となります。
	連続負荷を有する分岐回路の負荷容量は、その分岐回路を保護する過電流遮断器の定格電流の80%を超えないようにしてください。(内線規程)

■各部の名称

<20A>



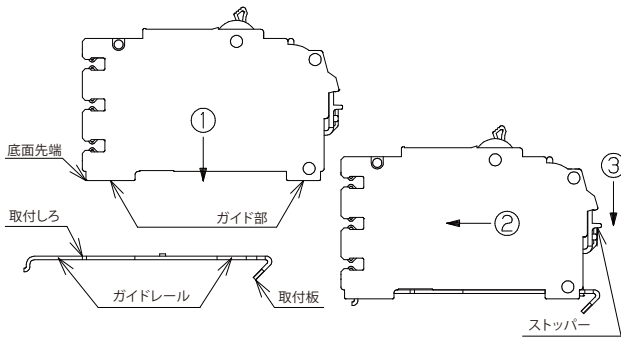
<30A>



■本体の取付け・取外し

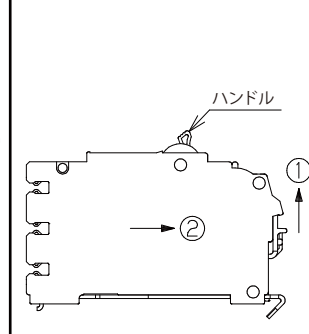
<取付け>

- 遮断器の底面先端を取付板の取付しろに合わせて置く
- ガイドレールに沿って奥まで差込む
- ストッパーを下側(保持位置)に降ろす



<取外し>

- ストッパーを上側(取外し位置)に上げる
- ハンドルに指を掛けて負荷側に水平に引く



■ 結線方法

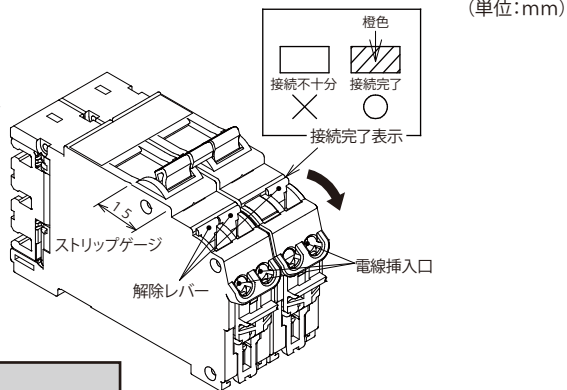
・速結端子への接続 (20A)

＜電線を接続する場合＞

1. 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて15mmむいてください。
2. 電線を電線挿入口に入れ、橙色の接続完了表示が出るまで差込んでください。(電線挿入角度は約15°です。)

＜電線を抜く場合＞

解除レバーを矢印方向に押しながら電線を引いて抜いてください。(解除レバーの操作力は約7Nです。)

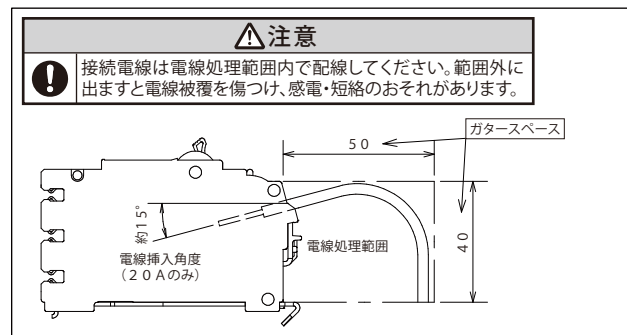


(単位:mm)

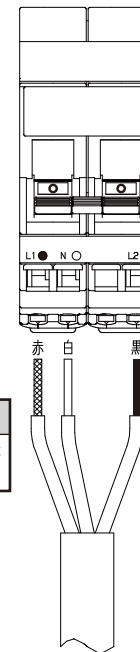
⚠ 注意	
⊘	電線の押し込み荷重が高すぎる(1000N以上)と破損するおそれがあります。
	1つの挿入口に2本以上の電線を差込まないでください。
	φ1.6・φ2.0の単線以外は右表の棒圧着端子を使用してください。
!	電線を差込んででも橙色の接続完了表示が出ない場合は接続が不十分です。電線のむき長さ・変形を確認の上、接続し直してください。
	電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災の原因となります。

接続電線: φ1.6・φ2.0Cu(銅)単線専用

ヨリ線サイズ	適合棒圧着端子
1.25mm ² ・2.0mm ²	<ニチフ製> TC2-20(棒圧着端子) VC2(絶縁キャップ)
3.5mm ² ・5.5mm ²	<日東工業製> シールドキャップ入り 棒圧着端子NA8030R,S,T
φ2.6単線	



⚠ 注意	
!	速結端子または溶剤レス端子付近に書かれている色表示と相表示に電線の色を合わせて接続してください。



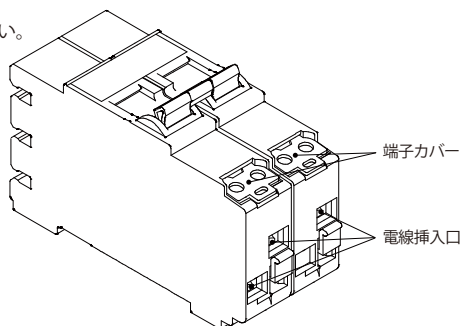
・溶剤レス端子への接続 (30A)

＜電線を接続する場合＞

1. 電線の被覆を13～15mmむいてください。
2. 端子カバーを取外し、端子ねじをゆるめてください。
3. 電線を電線挿入口に入れ、標準締付トルクで締付けてください。
標準締付トルク: 1.5～2.5N・m

＜電線を抜く場合＞

端子カバーを取外し、端子ねじをゆるめてください。



接続電線: ~8mm²

⚠ 注意	
⊘	1つの挿入口に2本以上の電線を差込まないでください。

■ 動作

- ・過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし電路を遮断します。
- ・トリップした場合の動作表示
ハンドルがOFFの位置(ハンドル表示はO)に止まります。

⚠ 注意	
!	ハンドルの再投入<ON(ハンドル表示はI)>後、即動作するときは負荷回路が短絡状態か、遮断器が異常です。このような異常が生じた場合は電気工事店へ点検を依頼し、原因を取除いた後ハンドルをONにしてください。

標準付属品一覧表	
端子カバー(30Aのみ)	2コ

施工業者名	
TEL	施工年月日 年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社のお客相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年1月現在のものです。

C905329001